

<発表資料>

2025年8月6日

- 社史・アーカイブ総合研究所 - 引用や他の出版物からの「転載」の方法

社内報の掲載記事や社長談話などは上手に本文にはさみ込む（引用）と効果的ですが、守らなければならないルールがいくつかあります（下の囲み）。

「土方」や「百姓」などの差別用語は、一般的には使いませんが、「歴史的背景を理解してもらうために、あえて原文表記のままとする」こともあります。これも凡例で、その旨を断ったり、当該箇所注釈を付けたりします。

社外で作られた資料を引用する場合は、このような注意のほか、著作権にも配慮しなければなりません。著作権は原則として、すべての出版物に発生しますが、例外として、左下の囲みのようなものがあります。

引用のルール

▼引用の範囲を明確にする

引用部分をカギカッコや罫線で囲んだり、引用の前後で少し行をあげたりする。

▼出典を明記する

▼原文にどの程度忠実であるかを「凡例」に掲載する

「厳密に原文通りに引用する」「旧仮名遣いは新仮名遣いに、旧字体は新字体に直す」など、方針を「凡例」に掲載する。

著作権の主な例外

●権利の対象として作成されていないもの

憲法など

●官公庁が一般に周知させる目的で流布するもの

統計資料など

以前は、著名記事ではない新聞記事には、著作権がないという見解がありました。しかし現在では、一部（死亡記事、火事、交通事故などの日々のニュースなど）を除いて、一般的な報道記事や報道写真には著作権があるとされていますので、注意が必要です。

これ以外のものについても、全体の何十％というような大量引用でない限り、出典を明記すれば使用料を請求されることはまずありません。判断が微妙で気になるときは、その資料の出版元に問い合わせしてみてください。なお、例外的に、歌詞についてはたとえ一部であれ掲載料が必要になるので、日本音楽著作権協会に申請が必要です。

写真は1枚ごとに著作権があるので、無断転用は禁物です。社史によく登場する写真として「東京オリンピック」「石油ショック時のパニック」などがありますが、これらの報道写真は新聞社や通信社が著作権を持っています。新聞社では写真を貸し出すサービスを行っているので、問い合わせしてみてください。新聞紙面を画像として掲載する場合も、新聞社の許諾が必要です。紙面の画像提供を受けなくても掲載料が必要なケースもあるので、注意してください。



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目8-8 アクロス新川ビル4F
TEL 03-6824-9113 FAX 03-6824-9110 ✉ info@shashi-archive.jp 担当：鈴木

<https://shashi-archive.jp/>

No.00087

2025年8月6日

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

出版文化社

【代表者】

代表取締役社長 木戸清隆

【創立】

1984年2月6日

【資本金】

99,234,300円

【東京カンパニー】

東京都中央区新川1-8-8

アクロス新川ビル4F

TEL：03-6823-6820（代）

【大阪カンパニー】

大阪市淀川区西中島5丁目13-9

新大阪MTビル1号館9F

TEL：06-7777-9730（代）

【名古屋支社】

名古屋市熱田区五本松町7-30

熱田メディアウイング3F

TEL：052-990-9090（代）

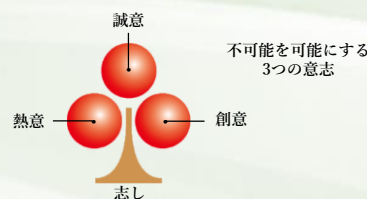
Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。

編集は自社内で一貫して行っています。

専門家＝アーキビストが常駐しています。

品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所

英文 Corporate Histories and Archives Research Institute

代表者 小谷允志

設立 2019年10月1日

研究員数 6名